

グローバル人材の育成

グローバル化が進展する社会において活躍する人材となるには、郷土の伝統や文化に立脚した広い視野をもち、異なる言語・文化・価値観を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性、語学力など、様々な資質・能力を併せもつ必要があります。和歌山県教育委員会では、グローバル人材を育成するため、大きな視点に立って様々な取組を総合的に行っています。

1

郷土の伝統や文化に立脚した広い視野の育成

わかやまふるさと検定・挑戦!わかやまの歴史

平成30年度から、『わかやま何でも帳』等の内容を問う「わかやまふるさと検定」(中学生・高校生対象)や、和歌山の歴史や文化財などに関するクイズ大会「挑戦!わかやまの歴史」(中学生対象)を新たに実施し、ふるさと教育の充実を図っています。



わかるかな!?

Q①: 和歌山県民歌に出てくる植物は何でしょう?



挑戦!わかやまの歴史クイズ大会の様子

会場:旧和歌山県会議事堂

2

コミュニケーション能力等の育成

「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山

平成30年10月31日・11月1日の2日間、「稲むらの火」発祥の地である本県で世界48ヵ国約400人の高校生が参加し、「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山を開催しました。

県内全ての高等学校・特別支援学校が、運営ボランティアなど、様々な場面で関わり、サミットの開催を盛り上げました。

アジア・オセアニア 高校生フォーラム、 和歌山県高校生 英語ディベート大会



和歌山県では、「アジア・オセアニア高校生フォーラム」を平成27年度から開催しています。フォーラムでは、世界との対話と協働をテーマに、防災や環境などの世界共通の諸課題について英語で意見交換や討論等を行います。今年度も、アジア・オセアニアから20の国と地域の高校生が参加しました。

また、「和歌山県高校生英語ディベート大会」を開催し、英語によるディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上や物事を多角的な視点からとらえる態度の育成をめざしています。



稲むらの火継承宣言



閉会式



わかやま高校生クイズ in English

高校生等を対象に、英語についての知識や和歌山県、日本、世界のことがらについて、英語で幅広く出題するクイズ大会を平成24年度から開催しています。英語に対する学習意欲を高めるとともに、『わかやま何でも帳』からも多く出題することで、ふるさとを英語で説明する力を養う機会としています。

第7回大会となった今回は、初めての試みとして、JR和歌山駅西口地下広場「わかちか広場」を会場として開催しました。会場周辺を通行する方々にも多く観覧していただき、また飛び入り参加もあつたりと、たいへん盛況な大会となりました。

わかるかな!?

Q②: What special day is November 5th?



和歌山県版ふるさと教科書
『わかやま何でも帳』

【答】

- A①:ハマユウ
- A②:World Tsunami Awareness Day.

3

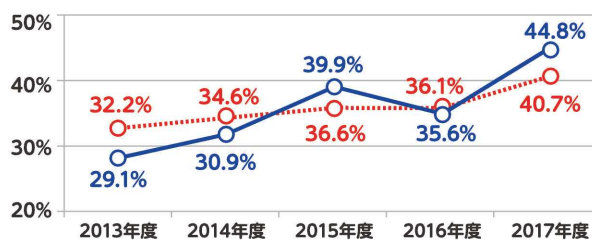
語学力の育成

英語科教員等の研修や 中学3年生への英検受験の推進



英語教育の充実や授業改善のために、小・中学校や高等学校の教員対象の研修を行い、指導力向上に取り組んでいます。

また、子供たち一人一人の英語力向上のために、検定料を県で負担し、公立中学校3年生を対象とした実用英語技能検定の受験を推進しています。



中学校卒業時に
英検3級相当の英語力を
有している生徒の割合

和歌山県

..... 全国平均



アジア・オセアニア
高校生フォーラム全体会の様子



英語ディベート大会の様子